

# INFINITY

～ 期末考査 4 週間前 ～

## 「いつかやる」ではなく「いつまでにやる」に。

11 月に入り、秋晴れが続いていたある日に、「みんな期末考査頑張ってもらいたいなあ」と、こんなことを思いました。

この思いを「いつか」伝えなければ……。 「いつか」っていつ？

「いつかやろう」、「そのうちやろう」、「やる気出たらやろう」

一見ポジティブな言葉に聞こえますが、これらは典型的なやらない人たちの口癖です。

「いつかやる」にはメリットは 1 つもありません。その理由を 3 つ。

1 つ目、まず高確率でやらない。

2 つ目、「いつ」が明確になっていないため、いつまでたっても「いつか」となり続ける。

3 つ目、「いつかやる」と言いつついつまでたってもやらないから、口だけの人になってしまう。

頑張っている未来（いつか）の自分というのは、ただの妄想です。

だって、いつかはいつまでたっても来ないから。だから「ちょっと」だけ頑張ろう!!

「夜ご飯まであと 30 分か、勉強はご飯食べてからにしようか」

「ご飯食べたけど、お腹一杯やし、ゆっくりしてから勉強しようか」……。

この人の「いつか」は永遠に来そうにないですね。

「夜ご飯まであと 30 分か、そしたらコレだけやってからご飯にしようかな」

「ご飯食べたけど、風呂の順番まだやし、待ってる間にアレでもやっこかな」

ぜひ、こうした「ちょっと」を積み重ねてみてください。そして、やり遂げた自分を褒めてあげて!!

最後に、私の好きなバスケットボールプレイヤー渡邊雄太選手のインタビューの内容を少し。

NBA では試合数が多く、シーズン中のチームでの練習量はどんどん少なくなっていく。

個人練習をしなければパフォーマンスの維持はできない。しかし、コンディション管理も重要だ。

正直、練習をするのは辛いときもある。サボろうと思ったこともある。

そういうときは、「明日サボろう」と、自分に言い聞かせている。毎日それを繰り返している。

まだ見ぬ明日に頑張っている自分を想像するより、今ある今日をやり遂げる。

少し表現を変えると、「負けるなら明日、今日は負けん！」ということです。

「今日は勝者のための言葉で明日は敗者のための言葉だ」

こんな、少し極端な言い回しの言葉を耳にしたことがあります。

これってまさしく、上述での渡邊選手のメンタリティーと同じですね。